鳥羽商船高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	海事輸送安全学

科目基礎情報

科目番号	0161	科目区分	専門 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	海事システム学専攻	対象学年	専2
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	特に指定しない		
担当教員	小島 智恵		

到達目標

国際物流を担う海上輸送の現状を把握するとともに、国内外の衝撃的な事故や災害の現状を把握し、安全管理について理解する。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	日本の国際物流の現状について具体例を挙げて説明できる	日本の国際物流の現状について説明できる	日本の国際物流の現状について説明できない
評価項目2	海事輸送における事故や災害の現状、およびその原因・対策について具体例を挙げて説明できる	海事輸送における事故や災害の現状を説明できる	海事輸送における事故や災害の現状を説明できない
評価項目3	組織の安全管理について、具体例を挙げて説明できる	組織の安全管理を説明できる	組織の安全管理について説明できない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	【海事　平成３０年　1年・2年　春　開講】 海技士としての知識を有する者が、海運や国際物流の知識や理解を深め、今後の物流について予測する。 国際的な貨物輸送について理解し説明できるようになること目指す。
授業の進め方・方法	講義やディスカッションを中心に進めていく。
注意点	・ 時事の内容について質問するので、新聞、ニュース等で日ごろから情報を入手すること ・ 貨物がどのような手続きが行われ移動するかをイメージできるようになること

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	海上輸送の現状	海上輸送の概要を知る
		2週	運賃と外国為替	外国為替と運賃の関係を説明できる
		3週	貿易保険	貿易保険の概要を説明できる
		4週	日本の貿易の現状	日本の現状について説明できる
		5週	貿易と環境	環境保全と貿易の関係を理解する
		6週	労働安全と産業安全	労働安全について説明できる
		7週	企業経営と安全管理	災害コストや労災保険について説明できる
		8週	安全委員会（安全衛生委員会）	設置が必要な業種・規模を説明できる
	2ndQ	9週	安全教育の意義	安全教育について説明できる
		10週	安全点検と職場巡回	点検と職場巡回について説明できる
		11週	労働安全衛生マネジメントシステム	労働安全衛生マネジメントシステムについて説明できる
		12週	リスクアセスメント	リスクアセスメントをグループで実施し、リスク評価ができる
		13週	災害の真相把握	災害の原因メカニズムを説明できる
		14週	災害の分析	災害分析方法を説明できる
		15週	機械・設備要因による災害防止	機能の安全評価を説明できる
		16週	定期試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	0	0	5	40	15	100
基礎的能力	30	0	0	5	30	15	80
専門的能力	10	0	0	0	10	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0